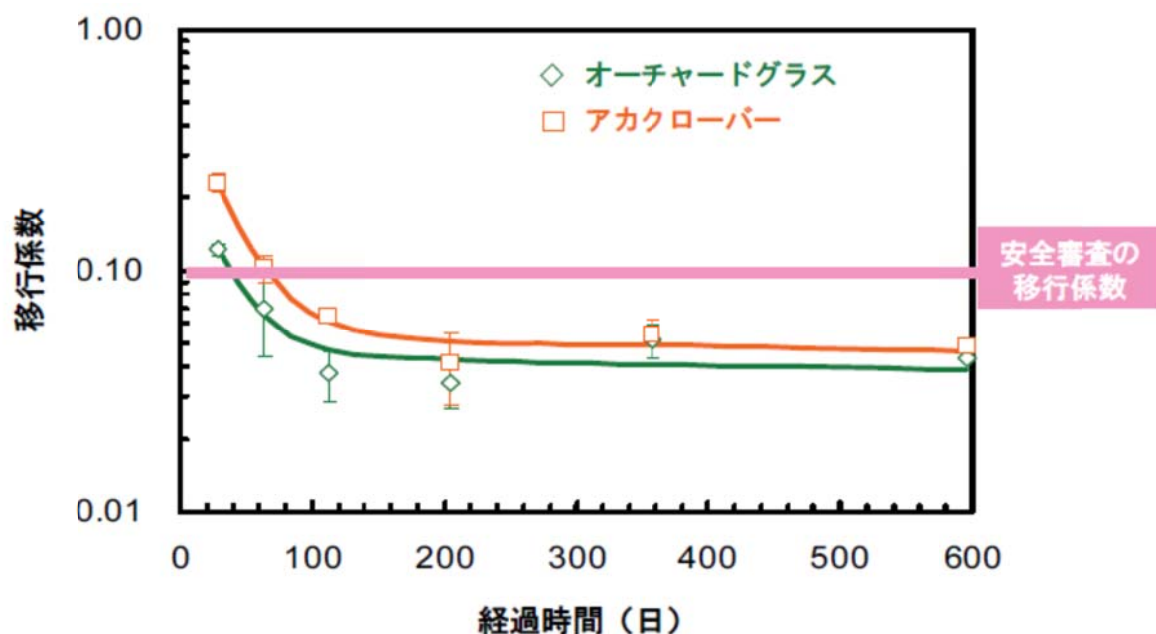


「牧草への移行係数」は？

回答

移行係数とは、土壌中の濃度から植物中濃度を推定するための係数で、放射性物質の土壌中濃度に対する植物中濃度の比として求めることができる。

土壌から植物への放射性物質の移行は、常に一定でなく沈着してからの時間経過によって変化する。一般的には、土壌に沈着した直後は、植物に吸収されやすい。下図に示すように、時間経過に伴って、放射性物質は土壌中の粘土鉱物や有機物などと強く結びつくため、植物に吸収されにくくなる。土壌に加えたセシウムのうち、牧草に吸収されたものは0.1%以下であった。



解説

(財) 環境科学技術研究所の成果報告会が、下記で開催されます。

9月29日(木) [六ヶ所村文化交流プラザ「スワニー」](#) (参加受付中)

10月21日(金) [青森市文化会館](#) (参加受付中)

11月07日(月) [弘前文化センター](#) (参加受付中)

12月15日(木) [八戸地域地場産業振興センター「ユートリー」](#) (参加受付中)

成果報告の内容は、下記です。

1.放射性物質の農作物への取り込み

作物の葉の表面にのったセシウムはどうなるか？

土壌から農作物への放射性セシウムの移行

2.低線量率の放射線の生物への影響

がんを退治する免疫細胞の働き

引用元

- ・（財）環境科学技術研究所；移行係数の時間変化
http://www.aomori-hb.jp/houkoku/H21_01.pdf
- ・（財）環境科学技術研究所；成果報告会
http://www.aomori-hb.jp/ahb2_07_20_housetu.html